

ふくたんちょっこりニュース 2019年 神無月号

No.31
2019年 10月 4日
富山福祉短期大学 社会福祉学科
(Tel 0766-55-5567)

【制作・編集】
社会福祉学科社会福祉専攻
鷹西 恒
E-mail : htct@urayama.ac.jp

『クッキングちょっこり』

ふくたん 地域サポートプログラム
『くまモンおはぎをつくろう』 テーマ～自分・発見～



今回は砺波地域自立支援協議会当事者委員会とのコラボ企画として、『くまモンおはぎをつくろう!』を行いました。予め決めてあったグループに分かれて座り、リーダーの老田未彩さん（社会福祉専攻2年）の説明&流れを聞きました。前半はご当地ドリンク争奪戦ゲームを行いました。五感（視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚）を使ったゲームです。問題がわからない、手伝ってほしいことがある等の解答者は「合理的配慮」と宣言して「GOカード」を掲げ、グループメンバー1名にヘルプできる仕組みです。プロの撮った写真と南部さん（学生）の撮った写真を見比べて当てたり、嵐の曲のイントロクイズ、チョコの味当てなど応援する方も楽しんでいる様子。フェルトで作ったくまモン福笑いゲームでは出来具合によって得点が高くなるためグループメンバーが懸命に声をかけていました（1位は黒部の完熟林檎サイダー）。後半はいよいよくまモンおはぎづくりです。協力しながら餅米を半殺し（米粒を残すことの意味）にしたり、あんこをこねるなどにぎやかな雰囲気でした。ピンクのあんこでくまモンのホッペをつくる作業では、みなさん真剣な様子です。顔が大きくなりすぎたり、宇宙人（見たことはないですが・笑）のようなものもありましたが、お味は大丈夫とのこと。お待ちかねのデザートタイムでは美味しいお茶を入れて合掌をしておはぎをいただきました。甘い物を食べたらしょっぱいものも欲しくなるということでポテトチップもくじ引きで選んで持ち帰っていただきました。参加者の交流も深まってワクワク感と笑顔が絶えない楽しい企画となりました。

『クッキングちょっこり in 南砺市』を行ないました

日時：令和元年9月23日（祝）13：30～16：00

場所：旅川福祉交流館（南砺市）

参加者：地域の障がいのある人、事業所、行政職員（29名）
本学の学生6名&教員1名、卒業生3名

この活動は、富山福祉短期大学教員の鷹西恒（社会福祉学科）と学生、小矢部市、砺波市、南砺市、福祉事業所等が連携して障がいや様々なハンディキャップのある人どうしが、地域の中で自立し楽しく幸せに暮らせることを目的として実施したものです。今回は地域貢献活動の推進のために立ち上げた地域活動支援サークル「ちょっこりNEO」のメンバーがリーダーとなり実施しました。